

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

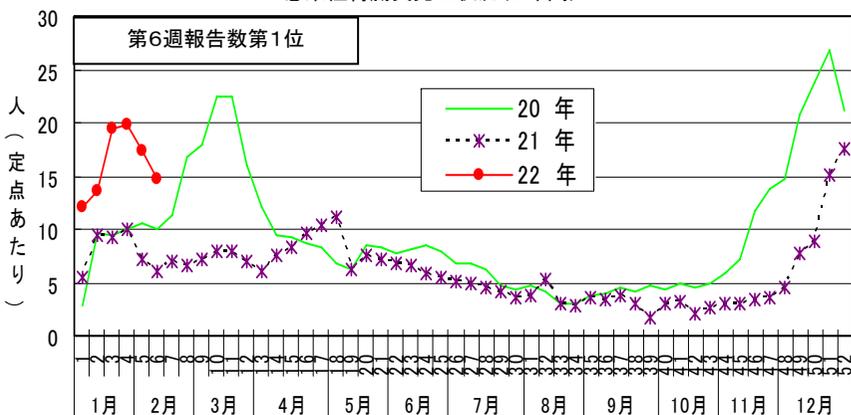
平成22年2月8日（月）～2月14日（日）〔平成22年第6週〕の感染症発生状況

第6週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) 水痘となっています。

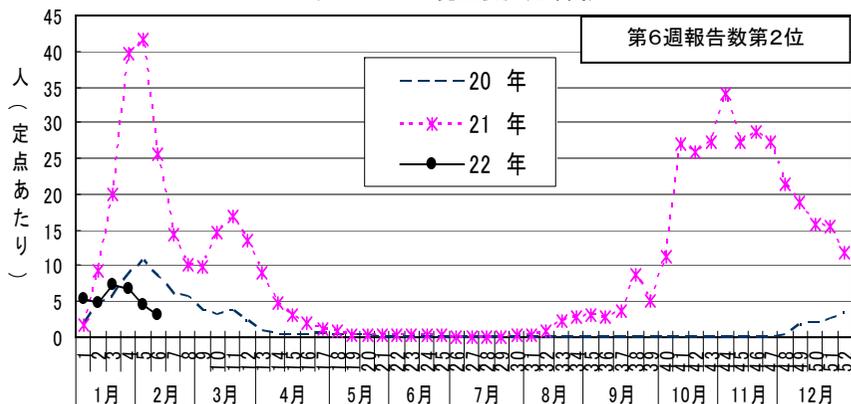
感染性胃腸炎が定点あたり14.75人と患者報告数は減少していますが、区別では中原区で警報基準値である定点あたり20を超えています。

インフルエンザも、定点あたり3.06人で3週連続して減少しています。ただし、第6週も2施設において学級閉鎖の報告がありましたので手洗い・うがい等を心がけましょう。例年のインフルエンザ流行状況からもうしばらく発生動向に注目する必要があります。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)

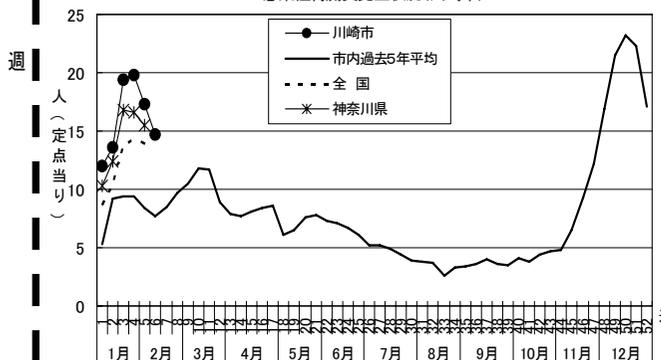


今年は感染性胃腸炎に負けない！！

感染性胃腸炎はウイルスや細菌が原因で起こりますが、秋から冬にかけて流行するものはほとんどウイルスによって起こります。特に今の時期はノロウイルスによるものが増えてきます。

下記のグラフは川崎市内過去5年平均と今年の川崎市・神奈川県・全国の患者数（定点当たり）を比較したものです。それによると、例年と比較して高いレベルで推移していることが分かります。

感染性胃腸炎発生状況(川崎市)



～ノロウイルス食中毒警戒情報発令中～

平成21年12月7日から平成22年3月末日まで、感染性胃腸炎の患者数及び例年の発生状況等を受けて、神奈川県内に「ノロウイルス食中毒警戒情報」が発令されています。下記に示した対策を家庭で実践し、ノロウイルスを含めた食中毒等に十分注意しましょう。

みんなで実践！ノロウイルス対策！！

- ①二枚貝等の生食には注意し、加熱が必要な食品は中まで加熱（85℃で1分以上）して食べるようにしましょう。
- ②患者さんの便や嘔吐物、それに汚染された手指、水、食品などを介して経口感染するので、手洗い・うがいを徹底しましょう。
- ③便や汚物を放置してしまうと、乾燥して空気中に舞い上がり、それが口に入ることによって感染することもあります。患者さんの便やおむつ、吐物は乾燥しないうちに早めに片付けましょう。
- ④また、必要に応じて家庭用塩素系漂白剤（※次亜塩素酸ナトリウム）などで消毒してください。※漂白作用があるので使用の際にはご注意ください。

